



町民の皆さんのご理解をいただき、この冬も乗り越えたいです。

「1月末現在の降雪量は、昨年が133cm、今年は224cmと約1m多い状況です。除雪出動の日は、午前2時に起床し、3時には車両センターに集合しますので、雪の予報の前日は落ち着かないですね。

市街地は約2時間半、郊外は約3時間半かけ、午前中には全線除雪するためにフル稼働します。1回目の除雪は、降った雪を除けて、道を確認する作業ですので、どうしても皆さんの家庭の玄関前に雪を置いていくことになってしまいますので申し訳ない気持ちもあります。でも、町民の方に「芽室町の除雪はきれいだね」と褒められることもあるので、その言葉にやりがいと誇りを感じ、親切・丁寧をモットーに作業をしています。最近、町民の方のご協力もあり、路上駐車や苦情も減ってきていることがうれしいです。

13人(すべて農業者)のメンバーのチームワークは最高で、若い世代には今までの経験を伝えているところです。町民の皆さんに喜んでもらえるように、みんな必死で作業していますので、皆さんのご理解をいただきながら、この冬も乗り越えたいですね。

夏は畑で、冬は雪を相手に、常に天気予報を気にした生活ですね(笑)」

「芽室町の除雪基準」

- ①降雪が10cmを超え、さらに降雪が見込まれる場合
- ②圧雪などで交通事故及び交通障害が予想される場合
- ③強風・融雪などにより、路面の吹き溜まりや道路のわだちが著しい場合
- ④その他、道路パトロールにより必要と判断した場合
- ⑤深夜の除雪(午後10時から午前3時まで)は、基本的に出勤しない
- ⑥吹雪時(視界確保が著しく困難)は出勤しない

小澤昌記さん

Ozawa Masanori

町内(芽室太)で畑作農業を営み、農閑期の冬場は除雪車両の運転業務を担い、町内の除雪・排雪に奮闘する。車両センターの除雪班の総括班長を務める、この道24年の除雪のプロ。芽室町出身。49歳

■ 開業10周年。喫茶と手打ちそばスタートで「地元の人と交流を広げたい」



旬なお店

モクモク十勝

芽室町上芽室南1線5-14
TEL 62-7779

<http://www.3.ocn.ne.jp/~kinoyado/>

国道38号線を清水方面に車を走らせ、焼肉処すず喜を越えて南に左折すると、広大な畑と日高山脈の景色が目飛び込み、畑の真ん中には、一軒の宿。客室6部屋の家族経営の小さな宿は、木の温もりと、おもてなしの温かい心で今日も来客者をお迎える。

海外21か国を旅した経験から、ライダーなどの観光客を温かく迎える宿を開業した吉田敏郎さん。開業10周年を迎え、喫茶と手打ちそばを宿のリビングで始めた。

「地元の方に気軽に立ち寄ってほしい。希望者には、お茶を飲みながら海外自由旅行の相談や簡単なパソコン指導もしてみたい」と語る。

食材が豊富な十勝には「来客者は“本物の味”を求めてやってくる。十勝の売り物は、食べ物とこの景色」と窓から見える素敵な景色を紹介してくれた。宿泊者の食事には、地元農家の農産物や鹿のタタキ、春先は山菜料理などが並び、

1年半の年月をかけた手作りのログハウスで、本物(地元)素材を提供する吉田さんからは、こだわりの職人魂が、ひひしと伝わってきた。



▲宿内から見える景色は絶景。まるで映画のスクリーンを見ているよう…



▲手作りのログハウスは、木の温もりがいっぱい



▲宿先の看板(左)と愛犬クッキーがお出迎え



▲暖炉の前で、そば打ちをする吉田さん

「喫茶、手打ちそば(当面は1日限定10食)」

営業時間/11:30~14:30 定休日/月・土曜